

# 「火の用心だより」第45号(平成30年11月)

発行：札幌市消防局予防部予防課

## 寒くなりました…ストーブの出番です！

今まで、ストーブ使用前の点検についてお知らせしましたが、本格的にストーブを使用する時季となりましたので、今号では、ストーブを使用中の注意などについてお知らせいたします。

### ●ストーブ火災の事例

#### 事例 1 ストーブ周囲の可燃物に着火

FF式ストーブの近くに置かれていた  
座椅子に着火し燃え広がった



#### 事例 2 ストーブの上に可燃物が落下し着火

ストーブの上に干していた洗濯物が、  
ストーブの上に落下して燃え広がった



### ●ストーブによる住宅火災を防ぐポイント！

平成29年中に発生したストーブ火災は、ストーブの種類別でみると、1位は灯油ストーブ、2位は電気ストーブ、3位が薪ストーブとなっており、主な発生状況は、可燃物がストーブに触れる、ストーブの輻射熱で近くにあった可燃物が燃える、点検等の未実施や整備不良によるもの、となっています。

今一度、ストーブ火災を防ぐポイントを確認しましょう。

- ストーブの近くに燃えやすい物（洗濯物・布団等）を置かない。
- 外出する時や寝る時は、ストーブの火を消す。
- 給油するときは、必ずストーブの火を消す。

# 正しい119番通報のポイント

去る11月9日は、「119番の日」でした。

正しい119番通報のポイントを覚えておきましょう！

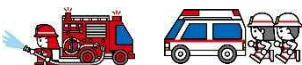
基本は、「聞かれたことに答えること」です。



## ●火事ですか？救急車ですか？

最初に、火事なのか救急車なのかを聞かれます。どちらなのかを答えましょう。

## ●まずは住所から



住所がわかれれば、すぐに消防車や救急車を出動させることができます。

何番何号といった枝番や、マンション名、部屋番号、〇〇宅等できるだけ詳しく伝えましょう。

住所がわからない場合は、近くの目印となる建物や公園などを伝えましょう。

慌ててしまうと、普段は言えるはずの住所が言えなくなってしまうことがあります。電話機の近くや、目のつきやすい場所に、住所・電話番号などを書いたメモを貼っておくと良いでしょう。

## ●どんな状況なのか

誰がどうしたのか、意識はあるか、呼吸はしているか。

どこで、何が燃えているか、など、一つずつ質問されます。

聞かれたことに、ゆっくり落ち着いて答えましょう。



## ●最後まで質問に答えてください

電話で聞き取った内容は、すぐに現場へ向かう消防隊員や救急隊員に知らせます。

安全な状況であれば、電話を切らずに、指令管制員の質問に最後まで答えてください。

### 市民が主役の火災予防

- ① 火災予防行事・活動に参加しましょう
- ② 火災予防の知識・行動要領を身につけましょう
- ③ 消火器などの防災機器を備えましょう
- ④ 防炎品を使用しましょう
- ⑤ 放火されない環境をつくりましょう
- ⑥ 火災から高齢の方などを守りましょう

発行：札幌市消防局予防部予防課

〒064-8586 札幌市中央区南4条西10丁目

☎011-215-2040

SAPP\_R0

